

【研究報告】

酒井 正

書籍

酒井正・深堀遼太郎（2018）「中高年期の就業における家族要因－配偶者の就業と家族介護が及ぼす影響」阿部正浩・山本勲編『多様化する日本人の働き方－非正規・女性・高齢者の活躍の場を探る』（慶應義塾大学出版会，第9章，pp.203-227）

酒井正（2017）「失業保険政策」川口大司編『日本の労働市場 経済学者の視点』（有斐閣，第9章，pp. 237-260）

論文

Linda N. Edwards, Takuya Hasebe and Tadashi Sakai, “Education and Marriage Decisions of Japanese Women and the Role of the Equal Employment Opportunity Act” *Journal of Human Capital* (forthcoming)

Tadashi Sakai, Akihito Toda, and Atsuhiko Yamada (2017) “Impact of a Wife’s Employment on her Husband’s Retirement Decision: Evidence from Japanese Longitudinal Data” 慶應義塾大学パネルデータ設計・解析センターディスカッションペーパー DP2017-006

酒井正（2017）「就業者の高齢化と労働災害」『日本労働研究雑誌』No. 682, pp. 37-50

山田篤裕・酒井正（2016）「要介護の親と中高齢者の労働供給制約・収入減少」『経済分析』191, pp. 183-212

Ryotaro Fukahori, Tadashi Sakai, and Kazuma Sato (2015) “The Effects of Incidence of Care Needs in Households on Employment, Subjective

Health, and Life Satisfaction among Middle-aged Family Members”
Scottish Journal of Political Economy 62(5), pp. 518-545

口頭発表

酒井正 “The Impact of Worker's Age on Occupational Fatality: Evidence from Japanese Administrative Microdata” (「労働政策と実証分析－樋口美雄先生慶應義塾大学退任記念ワークショップ－」2018年3月3日 慶應義塾大学)

酒井正 「労働保険制度」(「神奈川県労働大学講座」2017年11月16日 神奈川県立かながわ労働プラザ)

酒井正 「不安定就業とセーフティネットとの関係」(第19回税制調査会 2015年9月10日 財務省)

酒井正 「家族介護が就業時間に与える影響－メタ回帰分析による評価－」(日本経済学会2015年度春季大会 2015年5月23日 新潟大学)

その他

酒井正 (2017) 「(巻頭言) 児童養護施策が問うわが国の社会保障」『社会保障研究』第2巻第2・3号, pp. 142-143

酒井正 (2015) 「(論点焦点) 生涯現役社会の実現とその課題」『月刊社労士』第51巻第8号, pp.46-47

酒井正 (2015) 「(書評) 筒井美紀・櫻井純理・本田由紀編著『就労支援を問い直す－自治体と地域の取り組み』」『日本労働研究雑誌』No. 659, pp. 129-132

杉本 龍 勇

<著書・DVD>

1. 「岡崎慎司 身体覚醒メソッド」(監修/2016年10月18日/学研プラス)

2. 「スプリント学ハンドブック～すべてのスポーツパフォーマンスの基盤」(13章pp156-165担当/2018年2月28日/西村書店)
3. 「スポーツに生きる！正しい走り方講座」改訂版(単著/2018年3月25日/スタジオタッククリエイティブ)

<論文・研究ノート>

1. 「体力に関する主観的評価がスポーツ実施に対する動機付けに及ぼす影響」法政大学スポーツ背研究センター紀要33号, pp15-20(2015年3月)
2. 「大学生における自身の体力に対する評価と運動実施に対する価値観並びに要求が定期的スポーツ実施の意思に及ぼす影響」法政大学スポーツ研究センター紀要34号, pp51-56(2016年3月)
3. 「体力および健康に対する主観的評価がスポーツ実施行動に与える影響」法政大学スポーツ研究センター紀要35号, pp49-57(2017年3月)
4. 「学生における体育会活動に対する意識調査」法政大学スポーツ研究センター紀要35号, pp95-102(2017年3月)
5. 「競技力向上のためのマネジメント」國學院大學人間開発学研究第9号, 992-10(2018年2月28日)
6. 「学生の体育会活動に対する意識調査」法政大学スポーツ研究センター紀要36 pp37-49(2018年3月)
7. 「大学野球選手における24時間のエネルギー消費量はポジションで異なる－各ポジション1名ずつによるPilot study－」2017年3月, 法政大学スポーツ研究センター紀要36号, pp55-58(2018年3月)

<研究発表・シンポジウム>

1. 「オリンピックに向けた個人競技のブランディング」第8回日本スポーツマネジメント学会(2015年12月)
2. 「トレーニングと傷害の境」第39回東海スポーツ傷害研究会(2017年2月)

3. 「競技力向上のためのマネジメント」國學院大學人間開発学会第9回大会 公開シンポジウム 2017年11月11日, 國學院大學たまプラーザキャンパス

<コラム>

1. 時評「注目集まる『健康経営』」(静岡新聞・朝刊/2015年5月28日)
2. 時評「新国立競技場の建設問題」(静岡新聞・朝刊/2015年7月22日)
3. 時評「ジュニア選手の育成」(静岡新聞・朝刊/2015年9月9日)
4. 時評「一貫指導体制の構築」(静岡新聞・朝刊/2015年11月4日)
5. 時評「能力ある指導者確保」(静岡新聞・朝刊/2016年1月7日)
6. 時評「複雑なドーピング問題」(静岡新聞・朝刊/2016年3月2日)
7. 時評「スポーツと社会規範」(静岡新聞・朝刊/2016年4月21日)
8. 時評「スポーツ報道の在り方」(静岡新聞・朝刊/2016年6月15日)
9. 時評「ロシアのドーピング問題」(静岡新聞・朝刊/2016年8月3日)
10. 時評「リオ五輪に学ぶ施設運用」(静岡新聞・朝刊/2016年9月21日)
11. 時評「部活動の在り方」(静岡新聞・朝刊 / 2016年11月16日)
12. 時評「プロ選手か, 企業選手か」(静岡新聞・朝刊/2017年1月19日)
13. 時評「基本練習の重要性」(静岡新聞・朝刊/2017年3月15日)
14. 時評「大学スポーツのビジネス化」(静岡新聞・朝刊/2017年5月4日)
15. 時評「タレント発掘事業」(静岡新聞・朝刊/2017年6月29日)
16. 時評「スポーツ観戦の成熟度」(静岡新聞・朝刊/2017年8月23日)
17. 時評「若年層の体力低下」(静岡新聞・朝刊/2017年10月12日)
18. 時評「今後のスポーツ施設」(静岡新聞・朝刊/2017年11月30日)
19. 時評「働き方とトレーニング」(静岡新聞・朝刊/2017年2月1日)
20. 時評「部活動の時間制限」(静岡新聞・朝刊/2018年3月28日)

<社会貢献活動・マスメディア出演>

- ①TBS/MBS「情熱大陸」出演(2017年3月)

- ②NHK「おはよう日本」陸上競技解説（2017年6月，9月）
- ③NHK教育テレビ「Rの法則」出演（2017年5月）
- ④TBS「ひろおび」オリンピック特集解説（2016年8月）
- ⑤日本テレビ「嵐にしやがれ」出演（2017年8月）
- ⑥静岡県体育協会理事（2016年度～2019年度）
- ⑦静岡県東部地域サッカースタジアム構想連絡会会長（2018年2月～）
- ⑧沼津市スポーツリーダー研修会講師
- ⑨東京都障害者スポーツ選手育成事業講師（2017年度）

砂田 充

【論文】

- Sunada, M. "Measuring the Brand Value of Media Platforms in an Equilibrium Framework," ICES Discussion Paper Series, 17-E-001, March 2018. (査読無)

【学会発表】

- Sunada, M. "Measuring the Brand Value of Media Platforms in an Equilibrium Framework," The 14th International Conference of the Western Economic Association International, Newcastle: University of Newcastle, 11-14, January 2018.

竹田 茂夫

- ①「アベノミクスの本質——緊急避難・ショック療法・例外権力」, 『労働法律旬報1812（2014年3月下旬）pp.36-45.
- ②「危機のコモンズの動態——初期水俣病闘争の考察」, 『大原社会問題研究所雑誌』 671-672（2014年9月10月）。

- ③ 「市場は幻惑する——経済危機と市場の本質」, 金子・竹田編著『社会はどう壊れて、いかに取り戻すのか』同友館, 第5章所収, 2014年12月.
- ④ 「水俣と飯館村——構造的暴力に抗する連帯の論理」, 季刊『変革のアソシエ』No.21 (2015年7月)
- ⑤ 「安倍政権の経済政策」, 『大原社会問題研究所雑誌』No. 700 (2017年2月号) pp.1-11.
- ⑥ 『市場・国家・資本主義』批評社, 2018年1月。
- ⑦ 『市場原理』筑摩書房, 近刊。

濱 秋 純 哉

公刊論文

1. Hamaaki, Junya, Masahiro Hori, Keiko Murata, 2018, “The intra-family division of bequests and bequest motives: Empirical evidence from a survey on Japanese households,” *Journal of Population Economics*, forthcoming, 査読有。
2. 濱秋純哉, 2018年, 「生前贈与と若年層の資産形成」, 全国銀行協会金融調査研究会第2グループ報告書『わが国家計の資産形成に資する金融制度・税制のあり方』第5章, 査読無。
3. 濱秋純哉, 2018年, 「世代間資産移転と家族介護」, ゆうちょ財団『季刊個人金融』, 2018年春号, 66-79頁, 査読無。
4. 上野綾子・濱秋純哉, 2017年, 「2009年度介護報酬改定が介護従事者の賃金, 労働時間, 離職率に与えた影響」, 『医療経済研究』, Vol.29, No.1, 33頁-57頁, 査読有。
5. 濱秋純哉, 2016年, 「遺産分割と遺産動機: 日本のマイクロデータを用いた実証分析」, ゆうちょ財団『季刊個人金融』, 2016年春号, 42-55頁, 査読無。
6. 岩本光一郎, 菅史彦, 新関剛史, 濱秋純哉, 堀雅博, 村田啓子, 2016

年, 『家計調査』 個票をベースとした世帯年間消費支出額の推計—推計手順と例示的図表によるデータ紹介—, 『経済分析』 第190号, 93頁-128頁, 査読無。

7. 岩本光一郎, 新関剛史, 濱秋純哉, 堀雅博, 前田佐恵子, 村田啓子, 2015年, 『家計調査』 個票をベースとした世帯保有資産額の推計—推計手順と例示的図表によるデータ紹介—, 『経済分析』 第189号, 63頁-95頁, 査読無。

ディスカッション・ペーパー

1. Hamaaki, Junya, 2016, “The incidence of health insurance costs: Empirical evidence from Japan,” RIETI Discussion Paper Series 16-E-020.

学会・研究会報告（主要なもののみ）

1. Hamaaki, Junya, Yoko Ibuka, “The effect of inheritance receipt on health: A longitudinal analysis of Japanese young women”
- ✓ 医療経済学会第12回研究大会, 於慶應義塾大学, 2017年9月2日
 - ✓ 第9回マクロ政策分析研究会, 於高知工科大学, 2017年8月21日
 - ✓ 現代経済学研究会, 於東北大学, 2017年7月24日
 - ✓ The 12th World Congress of the International Health Economics Association, Boston, U.S., July 10, 2017.
 - ✓ 財政・公共経済ワークショップ, 於東京大学, 2017年3月17日
 - ✓ 家計研パネル調査・カンファレンス, 於ホテルグランドヒル市ヶ谷, 2016年12月16日
2. Hamaaki, Junya, Masahiro Hori, Keiko Murata, 2016, “The intra-family division of bequests and bequest motives: Empirical evidence from a survey on Japanese households”
- ✓ 第8回「資産の形成・円滑な世代間移転と税制の関係に関する研究会」,

於証券経済研究所，2018年4月6日

- ✓ 東京労働経済学研究会，於東京大学，2018年2月2日
 - ✓ 日本財政学会第73回大会，於京都産業大学，2016年10月23日
 - ✓ 第8回マクロ政策分析研究会，於青森大学，2016年8月8日
 - ✓ ESRIセミナー，於内閣府経済社会総合研究所，2016年6月17日
 - ✓ 富山大学経済学セミナー，於富山大学，2016年3月22日
 - ✓ 高齢社会と社会保障・家族の役割に関する研究会，於東北大学高齢経済社会研究センター，2016年2月5日
 - ✓ 高知工科大学制度設計工学研究センター・統計研究会財政班共催ワークショップ，於高知工科大学，2015年4月18日
3. Junya, Hamaaki, “The effect of inheritance receipt on labor supply and income: Evidence from Japan”
- ✓ Meeting on Applied Economics and Data Analysis (MAEDA), 於成城大学，2017年11月4日
 - ✓ 法政大学比較経済研究所プロジェクト研究会，2017年6月3日
4. Hamaaki, Junya, Masahiro Hori, “Bequest motives and the saving behavior of the elderly people: Empirical evidence from a survey on Japanese households”
- ✓ 内閣府経済社会総合研究所平成29・30年度国際共同研究「潜在成長力の強化と経済の活性化に向けた課題」中間報告会，於内閣府，2018年1月31日
5. 上野綾子，濱秋純哉，「2009年度介護報酬改定が介護従事者の労働供給に与えた効果」
- ✓ 医療経済学会第11回研究大会，於早稲田大学，2016年9月3日
6. Ibuka, Yoko, Junya, Hamaaki, “Dynamics of health and the economy over time in Japan”
- ✓ The 11th World Congress of the International Health Economics Association, Milan, Italy, July 13, 2015.

- ✓ 2015年度日本経済学会春季大会，於新潟大学，2015年5月24日
- 7. Junya, Hamaaki, “The incidence of health insurance costs: Empirical evidence from Japan”
- ✓ 経済産業研究所セミナー，2015年12月21日
- ✓ 第7回マクロ政策分析研究会，於鹿児島大学，2015年8月18日

一般向け研究紹介

ESRI通信第95号「研究紹介」, 「我が国における家族間遺産分割と親の遺産動機」, 内閣府経済社会総合研究所発行, 2016年7月20日

その他の活動

1. 内閣府経済社会総合研究所客員研究員（2012年4月～至現在）
2. 公益財団法人証券経済研究所，資産の形成・円滑な世代間移転と税制の関係に関する研究会メンバー（2017年1月～至現在）
3. 一般社団法人全国銀行協会，金融調査研究会第2研究グループ委員（2017年4月11日～2018年3月31日）
4. 魚沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員（2016年7月26日～2018年7月25日）
5. 医療経済学会第11回研究大会，プログラム委員

外部資金取得状況

1. 文部科学研究費補助金（若手研究B），課題名「世代間資産移転と家計行動に関する実証研究」，平成28年度～平成30年度，研究代表者
2. 文部科学研究費補助金（基盤研究C），課題名「景気変動が健康の水準と格差に与える影響とそのメカニズム」，平成28年度～平成30年度，研究分担者
3. 厚生労働科学研究費補助金，課題名「社会保障制度の制度改革の政策効果及び人口減少と世帯の多様性に対応した社会保障制度・地域のあり

方に関する研究」, 平成27年度～平成29年度, 研究分担者

4. 文部科学研究費補助金 (若手研究B), 課題名「社会保険料の帰着についての実証的研究」, 平成25年度～平成27年度, 研究代表者

宮 崎 憲 治

2015年4月～2018年3月の研究実績は以下の通りである:

- ・ 郡司大司・齊藤誠・宮崎憲治 (2015) 「東日本大震災の家計消費への影響について」齊藤誠 (編) 『震災と経済』第3章 (東洋経済新報社), 71-100.
- ・ Hiroshi Gunji & Kenji Miyazaki (2017) “Why do Japanese women work so much less than Japanese men? A business cycle accounting approach,” *Japan and the World Economy*, 42, 45-55.
- ・ 郡司大司・平賀一希・宮崎憲治 (近刊) 「日本における税収弾性値の推定」『日本経済研究』(日本経済研究センター)

今回で日本経済にかんする3ジャーナル (Japanese Economic Review, Journal of the Japanese and International Economies, Japan and the World Economy) にすべて掲載されたので個人的に嬉しく思っている. 今後も引き続き研究をすすめていきたい.

湯 前 祥 二

2016年5月, 論文発表「日本株市場におけるボラティリティ効果について」(共著), JARIP会報大会プロシーディングス特集号, Vol.3, pp55-68.

2018年3月, 論文発表「日本株式市場におけるボラティリティ効果の検証」(共著), JARIP会報大会プロシーディングス特集号, Vol.5, pp43-76.

ジュリア・ヨング

(2015年4月—2018年3月の業績)

(A) *Publications*

“Exploring the Rise of Big Pharma: A French-inspired Model for the Global Vaccine Industry,” in *Industries and Global Competition: A History of Business Beyond Borders*, Bram Bowens, Pierre-Yves Donzé, Takafumi Kurosawa, (eds) Routledge International Studies in Business History, 2018, pp. 91-110.

“A Distinctive Nation: Vaccine Policy and Production in Japan,” in *The Politics of Vaccination: A Global History*, Christine Holmberg, Stuart Blume, and Paul Greenaugh (eds), Manchester University Press, March 2017, pp. 209-35.

“Academia-Industry Relations: Interpreting the Role of Nagai Nagayoshi in the Development of New Businesses in the Meiji Period and Beyond” in *Science, Technology and Medicine in the Modern Japanese Empire*, David G. Wittner and Philip C. Brown, (eds) Routledge Studies in the Modern History of Asia, 2016, pp. 33-49.

「薬学史辞典」, 奥田潤, 西川隆 (編集長), 荒木二夫, 五位野政彦, 小清水敏昌, 指田豊, 鈴木達彦, 砂金信義, 宮本法子, Julia Yongue (編集員) 「日本のワクチン製剤とワクチン産業の歴史」(単) および「アメリカの薬学史」(共) 薬事日報社, 2016年3月.

「日本のワクチン産業史の新時代なのか?—Hibワクチンの日本承認をめぐって」, 日本歴史学雑誌, 第61巻第3号, 2015年9月20日発行, pp. 316

(B) Conference Presentations

August 6-12, 2017, 9th International Congress on Traditional Asian Medicines (ICTAM), Kiel University, Germany. Presenter in panel entitled, *East Asia Medicines Industry*; paper title: “From GMP to GPMS: How GxP influence Japan’s Kampō Industry,” co-authored with Drs. Arai Ichiro and Tsutani Kiichiro.

<https://www.ictam2017.uni-kiel.de/en>

March 16-19, 2017, Association for Asian Studies Conference, Toronto, Canada; Participant in a panel entitled, *Science and Technology as Progress in Japan and the World*; Presentation title: “Drivers of Progress in the Meiji Pharmaceutical Industry: Testing the Limits of the New Institutions of Medicine.”

[http://www.asian-studies.org/Portals/55/Japan%20Sessions.pdf? ver=2016-09-26-114427-897](http://www.asian-studies.org/Portals/55/Japan%20Sessions.pdf?ver=2016-09-26-114427-897)

May 31-April 1, 2016, Business History Conference Annual Meeting, Portland, Oregon, Presentation title: Business Models without Borders: French Connections to the Japanese Vaccine Industry

<http://www.thebhc.org/2016-program>

November 5, 2015, “Exploring the Rise of Big Pharma: A French-Inspired Model for the Global Vaccine Industry,” CARIS (Comparative Advantage of Regions and Industries, Grant-in-aid for scientific research JSPS, A23243055) Workshop: “Industries and Global Competition: Business Beyond Borders in the Historical Perspective,” Harvard University,

Reischauer Institute.

August 3-17, 2015: World Economic History Congress, Kyoto, Japan, Presentations in two sessions; paper titles: (1) *Traditional Medicines Go Global: Business, “New” Drug Development and Health Inequalities* and (2) *Exploring the Rise of Big Pharma: A French-Inspired Model for the Global Vaccine Industry*.

<http://www.wehc2015.org>

June 24-27, 2015: Business History Conference-European Business History Association Annual Meeting, Miami, Florida, Presentation title: *Traditional Medicines Go Global: Business, “New” Drug Development and Health Inequalities*.

<http://thebhc.org/2015-program>

(C) Discussant:

May 31-April 1, 2016, Business History Conference Annual Meeting, Portland, Oregon, panel title: *Sinews of Connection: Capitalism and Technology Transfer within and to East Asia*.

<http://www.thebhc.org/2016-program>

(D) Professional Associations/committee activities:

国内 :

(1) Member of Business History Society of Japan (日本経営史学会会員) 委員会・役員：富士コンフェレンス・国際交流委員会，広報委員会；常任理事（2017年1月～）

(<http://www.bhs-japan.org/bhsj/index.html>)

(2) Member of Japanese Society for the History of Pharmacy (日本薬史学会) 委員会・役員：常任理事 (2015年度～), 企画委員長 (2015年度～), 国際委員会

<http://yakushi.umin.jp/>

Co-editor of society's submissions to *International Society for the History of Pharmacy* newsletter

<https://histpharm.org>

海外：

(3) Member of BHC (Business History Conference)

BHC Conference Organizing Committee Member, Annual Conference 2016, Portland Oregon

<http://www.thebhc.org/2016meeting>

(4) Member of AAHM (Association of American Historians of Medicine) (2014～)

(E) Academic Activities at Hosei University

December 14, 2016: Lecture Series for Daiwa Scholars 2016, Gave special lecture entitled, *Origins of the Japanese Pharmaceutical Industry*, Ichigaya campus.

October 7, 2015, Awarded *Certificate of Appreciation* conferred by C. J Lee, Dean of the National Sun Yat-Sen University College of Management (国立中山大學管理學院). Gave special lecture entitled, *Business and Economic Evolution in Japan (1945-2010): Three Snapshots*, Ichigaya campus.

(F) Graduate School Instruction:

2016 and 2017 (fall semester): Taught “Japanese Capitalism and Entrepreneurship, Global Passport Program, 慶應義塾大学・商学部（特別招聘教授）.

(G) Public lecture activities:

2017年11月19日：「1867年パリ万国博覧会と幕末日本～人物で読み解く」
渋沢史料館企画展「渋沢栄一、パリ万国博覧会へ行く」[第2期] エンデュ
ケーション・プログラム, コメンテーター

